

CMC本部 分析研究部



■ 業務内容

研究で生まれた新しい薬の“種”を、患者さんに届く“くすり”へと育てるための科学的基盤を築く部門です。

具体的には、原薬や製剤の特性を評価し、有効成分の量、不純物の有無、安定性などを科学的に測定・解析します。さらに、製品を正しく評価するための分析方法を開発し、品質を保证するための管理戦略を構築します。こうした業務は、研究・生産・品質関連部門や海外拠点との連携のもと、実験室レベルから市販後まで一貫して進められます。

世界中の患者さまに「安心して使える高品質な医薬品」を届ける——その社会的意義と責任感が、私たちの仕事の原動力になっています。

社内外の多様なステークホルダーと協働しながら進める業務は、チームワークとコミュニケーション力を活かせるやりがいのあるフィールドです。

■ 大切にしている思い

研究開発部門として、得られたデータをありのままに受け止め、科学的に分析した上で本質を見極める姿勢を大切にしています。製品を深く理解し、課題に対して論理的にアプローチすることが求められます。また、既存の手法にとどまらず、新しい技術や考え方を積極的に取り入れ、製品価値をさらに高める挑戦を続けています。

■ 働く環境・チームの雰囲気

部員は約70名、徳島第二工場と佐賀工場の2拠点で業務を担当しています。男女比はほぼ半々で、誰もが働きやすい環境です。専門分野は薬学にとどまらず、理学、工学、農学など幅広く、多様なバックグラウンドを持つメンバーが集まっています。この知識と経験の多様性が、チームの強みです。

分離分析・分光分析・物性分析に強みを持ち、HPLC、GC、質量分析、NMR、粉末X線回折、ラマン分光、溶出試験器など、幅広い分析機器を備えています。

和やかで協力的な雰囲気の中、同じ方向性と目的を共有しながら業務に取り組む職場です。

■ 求めている人物像

- ・科学的な好奇心・探究心を持ち、論理的に考えられる方
- ・チームで協力しながら課題解決に取り組める方
- ・グローバルな視点を持ち、変化を楽しめる柔軟性のある方
- ・医薬品の品質構築に誇りと責任感を持てる方
- ・多様な専門性や文化を尊重し、ステークホルダーと円滑にコミュニケーションできる方

